



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

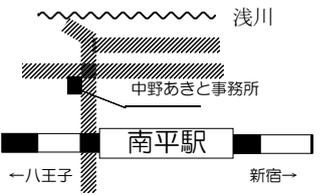
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2022年
1月発行

第228号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



清水都議、中野市議が住民と共に 都南多摩西部建設事務所へ 北野街道の危険箇所改善を要望

中野あきと事務所では、北野街道の危険箇所を調査し、昨年12月9日、都南多摩西部建設事務所に3点の改善要望を行いました。建設事務所からは副所長・工事課長他2名が対応にあたりました。

①南平7丁目「ガスト（ファミリーレストラン）」 に接する歩道の拡幅

同所は南平高校への通学路でもあり時間帯によっては歩道に人が溢れている。

②南平8丁目14の バイクショップ前の歩道の整備

同所は盛り上がっている歩道に足を引っかけ転倒し救急車が出動するという事故が発生している。

③南平駅入口交差点に右折車線を設置

同所はスーパーでの買い物のため右折車が多く渋滞が発生している。



要請に参加した
清水都議（右から3人目）
中野市議（同4人目）と
住民の方々、中野事務所員

不正・違法に浸かる
この市政を変える
中野あきと

いつも事務所ニュース「みどりと清流」をお読みいただき有難うございます。オミクロン株による感染が広がる中、不安、心配な思いで新年を迎えられたのではないのでしょうか。

こんなときに日野市政の不正、違法な行政が次々と明らかになり、怒り心頭の思いで年を越された方も少なくないと思います。

「福祉の増進」という地方自治体の本分を忘れ、法令遵守という自治体が絶対守るべき節度を見失って、「数は力」「力は正義」と言わんばかりの強権政治で、不正・腐敗・違法な行政を押し通してきたのが、自民、公明主導の大坪市政です。

何としても2月の政治戦でこの市政を変えたい。自民、公明主導のもと、連綿と続いてきた「数の力」による強権政治、不正・違法に浸かる市政を変えたい。この市政と正面から立ち向かってきた一人として、心底決意しています。

《共産党市議団が申し入れ》 補聴器購入に対する補助を

昨年末の28日、党市議団は、大坪冬彦市長に対して「加齢性難聴者の補聴器購入に関する補助等を求める」申し入れを行いました。党市議団が行った市民アンケートや、各自治体の補聴器購入に関する支援の動き、そして昨年9月、日野市議会において補聴器購入に関する補助を求める請願が全会一致で採択されたことを踏まえ、以下3点にわたる申し入れを行ないました。

対応した副市長は「ご提言にあるように、補聴器問題は、その購入費だけでなく、装用を継続できるようにすることが問題」「よく調査しながら検討させていただく」と応じました。

1. 新年度から補聴器購入に関する補助制度を創設すること。その際、所得の有無に関わりなく必要な高齢者が補聴器を購入できるよう、補助と現物支給のどちらかを選択できるような制度とすること。
2. 難聴の疑いがある高齢者に、医療機関への受診勧奨できるよう、日野市、市立病院、医師会、地域の耳鼻咽喉科との連携の取り組みをすすめること。
3. 補聴器装用後も装用を継続できるよう、言語聴覚士等による相談・トレーニング支援、「きこえ手帳」等の発行によるフォローアップの取り組みをすすめること。



短信

元日、いつものように朝5時起床。熱いコーヒーをすすり「赤旗」と「朝日」に目を通す。陽が射し始めた外は雲ひとつない快晴。富士山が見たくなり自転車で浅川土手へ。ふれあい橋を前景に白く輝く富士。振り返ればクリーンセンターの煙突から白煙がわずかに南に傾いで立ち昇っている。無風。穏やかな年明けである。ニット帽からはみ出した耳が痛い。去年は二度発熱し、市内の病院でPCR検査をした。年の瀬になってじわりと広がるオミクロンが心配だ。前進面はあったものの総選挙の結果もほろ苦い。元日の「赤旗」が、志位さんに寄せたある自民党重鎮のメッセージを紹介していた。▼「野党がまとまったらまずい。だからメディアに『共闘失敗』と書かせている。『共闘』がない限り政権交代は無い。共産党が共闘路線を歩む限り、自民党はつねに不安と恐怖を抱き続けるだろう」と本音が吐露されていた。▼かつて趣味の登山になぞらえ不破哲三さんが「長い山腹のアプローチは終わりこれからは本格登山」と、党の立ち位置を表現したことがある。長く苦しい道のりではあったが、今はさしずめ「樹林帯の急登を終えようやく尾根道に達した」のではないかと。▼視界は広がるが、そこには下では感じられなかった強風も吹き抜けている。さあ、「新しいステージ」のたたかいは始まる。この流れに手を添えながら、政治の変わりようを少しでも長く見届けたい。

一中野あきとの4年間の実績一

論戦力、徹底調査・提案力

フルに発揮し市政を動かす

■「不正」は許さない

河内久男元副市長をめぐる疑惑
徹底調査と論戦で不正を明らかに



市立病院での河内氏へのヤミ手当2328万円、川辺堀之内区画整理組合での河内氏への不正報酬1億9000万円、旧たかはた保育園の民営化事業に関する不当な補助金4億円などについて、徹底的な調査と市議会論戦を重ね、その不正や問題点を告発。

同時に新たな事実と疑惑を示し、疑惑解明を求める市議会決議や市による第三者委員会の設置を実現させてきました。

■「違法」は許さない

北川原公園へのごみ搬入道路の整備
「無法な暴走は必ず行き詰まる」と徹底追及

地裁、高裁で「違法」断罪された北川原公園へのごみ搬入道路の整備。計画が持ち上がった時点から、北川原公園をめぐる歴史的な経過、都市計画法・都市公園法や東京都、国土交通省の基本的見解をとことん調査し、市議会で「どう考えても違法であり無理筋だ」と指摘してきました。

強行する市長に「市長はより一層苦しい立場に追い込まれる」「無法による暴走は必ず行き詰まる」と何度も指摘、撤回・見直しを迫り続けてきました。



元日の街頭宣伝
高幡不動駅参道口
右 中野あきと・市議
左 山添拓・参議院議員

■「談合」は許さない

高値落札が常態化している公共工事
入札改革で年間6億円超の財源確保を提案

年間60億円を超える日野市の公共工事。その入札の多くが競争が働かず1社入札で、しかも予定価格の9.9%超の高値落札になっている実態を市議会で暴露。市長に調査を約束させるとともに、競争が働くよう入札改革を進め、他市並に落札率を引き下げれば、年間6億円以上の経費節減で新たな財源が生まれると提案しました。

■市民の足 公共交通の充実

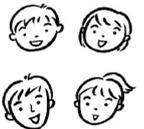
ミニバス南平循環路線の実現
交通空白地域への新たな公共交通を提案

前回の市議選直後の3月、6月議会で連続してミニバスなど公共交通の抜本拡充を求めて質問・提案を行い、翌年2019年6月からの南平循環路線の実現に道を開いてきました。また、署名運動や対市交渉を重ね、南平体育館バス停設置を実現させてきました。

さらに交通空白地域の解消へ、デマンド型交通などの公共交通の早期導入を提案しています。

■猛暑対策・災害対策として

小学校体育館へのエアコン設置
財源も含め提案を重ね、実現へ道ひらく



猛暑対策や避難所対策として切実に求められている小中学校体育館へのエアコン設置。問題になった3年前から全ての小中学校体育館への早期設置を提案してきました。当初、中学校体育館に絞った市の対応も厳しく批判。

昨年9月議会では、国、都の補助を使えば1体育館あたり約600万円を設置できることを明らかにし、補助制度のあるいま決断して、小学校体育館へのエアコン早期設置を実現すべきだと提案してきました(昨年12月議会で市長が設置を進める見解を示す)。

【お知らせ】紙面の都合で「法律相談日」の日程は掲載できませんでした。相談日の問い合わせ、お申し込みは清水・わたなべ事務所へ(042-582-1042)

一中野あきとはめざします一

【重点公約と政策】

- 不正疑惑の全容解明、汚職腐敗の根絶
クリーンで公正、市民の暮らし最優先
- すべての子どもが大切にされるまち
保育園・学童クラブの充実、少人数学級・特別支援教育の推進
- 子どもの命と健康を守る
一刻も早い小学校体育館へのエアコン設置、学校安全管理員の復活・配置
- 若者、子育て世代から高齢者まで、安心して住み続けられるまち
全ての世代を対象にした家賃補助制度の創設
※高齢者向け家賃助成制度を平山公社住宅居住者も対象に。
- 介護が必要になっても安心して暮らせるまち
特養ホームの増設、介護保険料軽減・利用料への補助

■難聴・きこえの支援

補聴器への補助、調整・アフターケアを

■丘陵地でも、免許返納しても、住み続けられるまち

ミニバス・ワゴンタクシー・デマンドタクシーなど公共交通の充実

※平山循環路線の本数・バス停の充実を。

※南平5丁目地域へ一刻も早く公共交通の導入を。

■公共事業偏重の是正、公共工事の入札に切り込む

年間6億円超の財源確保で暮らし・子育てを応援

■個人の尊厳が大切にされ、ジェンダー平等のまち

男女の賃金格差解消・包括的性教育・パートナーシップ条例の制定

■気候危機打開へ日野でCO250%削減宣言を

緑地・樹林地の保全、大型開発・乱開発の規制、太陽光パネルの設置促進

※平山6丁目の急傾斜地の早急な崖崩れ対策を。